

きぼう

明石市立大久保北中学校 第1学年
学年通信 第69号
平成30年11月7日(水)

楽天は人を成功に導く信仰なり。希望なくして何事も成ることなし。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

文化祭の取り組みを振り返って ~Part4~



◆1組

歌では、クリスタルが取れなくて、残念だったけれど私はクラスみんなでつくりあげた歌は1番良かったと思います。最初はみんなバラバラで本当にうまくいくのかなと思って、とても不安だったけど、みんなハーモニーがとてもきれいだったと思います。でも練習中とかに私語が多かったり、ふざけている人がいたので次はそれを改善したいと思いました。練習の時、最初はみんなしんどそうだったけれど、最後には口を大きく開けたり、笑顔で歌えていたので良かったです。パートリーダーの時、最初はみんなを引っぱっていきけるか不安だったけれど、今思うとやって良かったととても思います。あと歌を歌っている時はとても楽しかったです。クリスタルは取れなかったけれど、取れなかったかわりに、いろんなことを学びました。今まで経験したことや、学んだことを2年生になったときに活かしたいし、これからやってくるスキー実習などにも活かしたいと思いました。

◆2組

僕は初めての文化祭で、さらにパートリーダーを務めました。最初のパート練習では、誰もがダラダラしていて、言ったことを全く聞かず「これからどうなるのだろう」ととても不安でした。でも、それは自分が文化祭に向けて意識が低いためだから、文化祭のことをもう1度しっかりと考えてみました。考えていると、自分に自信を持ち輝いた合唱にしようという夢が僕の中に生まれました。それからはこの情熱をもってパート練習に取り組みました。そうするとクラスのみならず本気で取り組むようになり、全員が文化祭を意識した取り組み

にかわっていきました。その結果、優秀賞をとることができました。とても嬉しかったです。最初にして最高の文化祭だったと思います。来年もがんばります。

◆3組

僕は中学生最初の文化祭を終えて協力ということの大切さを学びました。体育大会の時は朝練に来なかった人がいたり、クラスで話し合っって作戦をたてたりすることができず、とても協力していたとは言えませんでした。でも、今回の文化祭の取り組みの中では一人一人が真剣に取り組み、朝練に来なかった人もおらず、話し合っってよりよい合唱に近づけようとクラス全員で協力していきました。その結果学年で優秀賞に選ばれました。あと僕は文化祭のある2学期も文化祭をして良かったと思いました。最初は何をすれば良いのかわからなかったし、毎日クラスの実行委員会で部活動をする時間がなくなったりして、文化委員が嫌だとも思いました。でも、文化祭が終わって振り返ってみれば、これまでの取り組みは決して無駄ではなく自分の力になっていると思います。この文化祭で学んだ協力することの大切さをこれからの学校生活にいかしていきたいと思います。

◆4組

僕はパートリーダーとしてクラスを中心となって合唱づくりをしてきました。パートやクラスをまとめることはすごく難しく、みんながふざけていたり、口を開けてくれなかったりととても大変でした。しかし、毎日のクラス練習をしているうちに、だんだんクラスがまとまってきて、ふざけたりする人も少なくなってきました。そして、今までは声が小さいと言われていた男性パートも声が大きくなっていき、合唱コンクール本番では今までの練習の成果を発揮し、全員が本気で歌うことができたので、結果はどうであれ文化祭は“成功”だったと思います。また、各学年の優秀クラスの発表はとても声も出ていたし、音程も良くて、すごいと思いました。2、3年生の学年合唱では来年こんな風に歌えるようになりたいと思いました。

★★每学終了★★

~11月5日(月)

9冊目…
8冊目…
7冊目… 6冊目…
5冊目…
4冊目…

3冊目…

2冊目… 1冊目…